

**2016 年度京都 YMCA 国際福祉専門学校
自己点検・評価表**

1. 学校の教育目標

イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、国際的な視野を持ち、自己学習能力・人間関係を豊かにする能力・ボランティア精神・リーダーシップとその行動様式を身につけた専門職として「共に生き、支えあう社会」の実現に貢献できる人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①地域のニーズをとらえた展開を行い、多様な学生を確保する。
- ②YMCAの資源を活用したユニークな教育の機会を提供する。
- ③YMCA のブランド力を高め、ファン層を増やす
- ④2017 年度末での財政安定に向けた収支差確保と収入の拡大に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切...4, ほぼ適切...3, やや不適切...2, 不適切...1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	4 ③ 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

<課題>

- ・入学前と入学後から卒業までの間の育成人材像をさらに明確にし、学びの課程を通じて学生や保護者に理解を求める仕組みが必要である。

<今後の改善方策>

- ・入学ガイダンスや学期間での定期的オリエンテーションの充実を図る。

(2)学校運営

評価項目	適切...4, ほぼ適切...3, やや不適切...2, 不適切...1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
運営組織や意志決定機能は,規則等において明確化されているか,有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事,給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1
教務,財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・事業計画をより具現化した運営指針を作成する必要がある。
- ・教職員へのさらなる周知徹底が必要である。

<今後の改善方策>

- ・運営計画のチェックリストを作り、PDCAサイクルによる運営を徹底する。
- ・教職員会議の内容を充実させる。

<特記事項>

- ・教職員の運営方針の統一理解と意識が重要である。

(3)教育活動

評価項目	適切...4,ほぼ適切...3, やや不適切...2,不適切...1
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	4 ③ 2 1
教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4 ③ 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 ② 1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	4 ③ 2 1
関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携により,カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
授業評価の実施評価体制はあるか	4 3 ② 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1

関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・業界関係者との連携によるカリキュラム作りが不十分である。
- ・国家試験合格率を目指すカリキュラム作りが必要である。
- ・授業評価・アンケート等の評価方法が確立されていない。

<今後の改善方策>

- ・業界関係者との懇談会の実施
- ・授業評価・アンケートの実施
- ・カリキュラムの改定

<特記事項>

- ・カリキュラム検討会議を開催している。

(4)学修成果

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

<課題>

- ・卒業後3ヶ月の追跡調査は行っているが、以降は行っていない。
- ・卒業生のネットワークの構築が必要である。

<今後の改善方策>

- ・定期的に卒業生に対して調査を行う。
- ・同窓会的な組織づくりを模索する

(5)学生支援

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・公的奨学金や学校独自の奨学金制度の創設
- ・学生の状況に応じた経済的支援体制の充実

<今後の改善方策>

- ・奨学金の新たな創設と拡充
- ・就学支援金等経済的支援方法の確立

<特記事項>

- ・就業先からの就学支援金等の奨学金制度導入を検討中

(6)教育環境

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1

学内外の実習施設,インターンシップ,研修旅行等について 十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・校舎の老朽化に伴う施設整備や耐震化が必要。

<今後の改善方法>

- ・校舎の施設整備・耐震化工事の実施計画

<特記事項>

- ・会館全体の整備計画を策定中である。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
学生募集活動は,適正に行われているか	4 ③ 2 1
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・募集活動計画の再考が必要である。
- ・外国人人材の募集計画が必要である。

<今後の改善方策>

- ・学生層の違いによる募集活動計画の見直しを行う。
- ・外国人福祉人材の募集計画を検討する。

<特記事項>

- ・外国人福祉人材の募集スキームを作成中である。

(8)財務

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 ② 1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・財政基盤を安定化するために学生数を増加させる必要がある。
- ・幅広い教育活動を行うことで入学窓口を増やす必要がある。

<今後の改善方策>

- ・新規事業の開始と増収に向けた方策作り。

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切… 1
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・自己評価の内容充実と年間計画の策定
- ・学科の特性に合わせた自己評価のあり方を検討する必要がある。

<今後の改善方策>

- ・自己評価方法の見直しと組織的評価の仕組み作り

(10)社会貢献地域貢献

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
生徒のボランティア活動を奨励,支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

<課題>

- ・地元周辺地域との関わりが不十分である。
- ・地域に対する公開講座が不十分である

<今後の改善方策>

- ・地元周辺地域への活動参加の機会を増やす。

<特記事項>

- ・地域の社会福祉協議会と協働し、高齢者向けのイベントを行った。
- ・熊本地震被災者支援募金活動を行った。